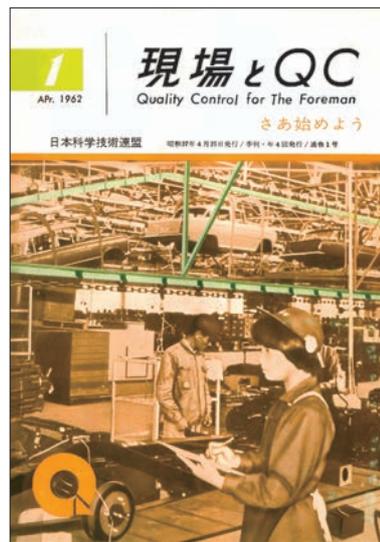


『現場とQC』誌 現在の『QCサークル』誌の発刊に当って



石川 馨博士



『現場とQC』誌 創刊号

発刊に当って 石川 馨

ここに『現場とQC』第1号をお送りします。

昨年本誌の姉妹誌「品質管理」で現場の戦・組長さんたちにお集りねがい品質管理について座談会を行なった際に、われわれが気やすく読めるような雑誌がほしいという要望が非常に強かったので、早速小委員会をもち、いろいろ検討し、第11回品質管理大会でアンケートをとったりして、「現場とQC」の発行を決定するにいたった次第です。

わが国の品質管理活動も15年に近くなり、貿易自由化を前にして、各社が競ってますますさかんに実施しており、いわゆる全社的品質管理、あるいは設計・外注・現場から販売・流通機構・消費者までのQCといういわゆるTQCという時代になってきています。そして実際に品質を作っている現場の方々が中心になつた品質管理、現場の方々が品質に責任をもって品質保証をしようとい

う時代になってきました。

そこで現場の方々に親しんで読んでいただける雑誌にしようと思って編集をはじめましたが、さらに消費者である皆様のご意見を伺い、誌上でいろいろ意見交換を行なって、あるいは各現場ごとに読者QCサークルをつくっていただいで、編集委員のみならず読者グルミの編集をしていきたいと思っていますので、皆様のご協力をお願いします。

この本ははじめは3、6、9、12月(ただし創刊号だけは4月)年4冊を発行し、番号も1、2、……と一貫番号で進めていくつもりです。是非各現場に第1号からそろえてかさって下さい。皆様のご要望によっては将来は隔月あるいは毎月発行にしてもよいと思っています。

また読みやすくするために型も小型にし、活字も大きくしました。値段も送料をふくめて年600円で、「いこい」12個分ですし、第1号から順にそろえていくのも一つの楽しみなものです。できれば個人でとっていただければと存じます。

いずれにしろこの本により現場に地についたQC活動が行なわれ、実際に現場の方々により大きな効果をあげていただけるようになれば、われわれとしてこの上ない喜であります。

皆様のご活躍を祈ります。

(東京大学・教授)